

製品名: IL-12R β 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12496**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	IL12RB1
別名	IL12RB1; IL12R; IL12RB; Interleukin-12 receptor subunit beta-1; IL-12 receptor subunit beta-1; IL-12R subunit beta-1; IL-12R-beta-1; IL-12RB1; IL-12 receptor beta component; CD212
遺伝子 ID	3594.0
SwissProt ID	P42701
免疫原	抗血清はヒト IL12RB1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

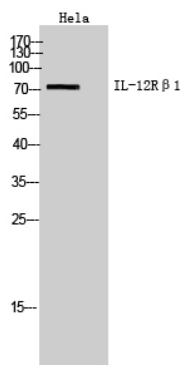
背景

インターロイキン 12 受容体サブユニット $\beta 1$ (IL12RB1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヘモポエチン受容体スーパーファミリーに属する I 型膜貫通タンパク質である。このタンパク質はインターロイキン 12 (IL12) に低い親和性で結合し、IL12 受容体複合体の一部であると考えられている。このタンパク質はジスルフィド結合オリゴマーを形成し、これが IL12 結合活性に必要である。このタンパク質と IL12RB2 タンパク質の共発現は、高親和性 IL12 結合部位の形成と IL12 依存性シグナル伝達の再構成につながることを示された。この遺伝子の変異は、インターロイキン 17 産生 T リンパ球の発達を阻害し、結核菌およびサルモネラ菌感染症に対する感受性の増加をもたらす。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、疾患: IL12RB1 の欠陥は、メンデル遺伝性の抗酸菌症感受性 (MSMD) [MIM:209950] の原因です。MSMD は家族性播種性非定型抗酸菌感染症としても知られています。このまれな疾患は、バチルス・カルメット・グラン (BCG) ワクチンや環境性非結核性抗酸菌などの中等度の毒性を持つ抗酸菌種、およびより毒性の強い Mycobacterium tuberculosis によって引き起こされる疾患にかかりやすい素因となります。他の微生物は、抗酸菌感染症感受性のある人に重篤な臨床疾患を引き起こすことはほとんどありませんが、感受性のある人の 50% 未満に感染するサルモネラ菌は例外です。MSMD の発症メカニズムは、インターフェロン γ を介した免疫の障害であり、その重症度が臨床転帰を決定します。患者の中には、幼少期にらい腫様病変を伴う重篤な抗酸菌感染症で死亡する患者もいれば、後年、類結核性肉芽腫を伴う全身性だが治癒可能な感染症を発症する患者もいる。MSMD は、常染色体劣性、常染色体優性、または X 連鎖遺伝を伴う遺伝的に異質な疾患である。、domain:ボックス 1 モチーフは、JAK の相互作用および/または活性化に必要である。、domain:WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要であると考えられる。、function:インターロイキン-12 に低親和性で結合し、IL-12 の伝達に関するインターロイキン受容体として機能する。IL-12RB2 と会合して、IL-12 に対する機能的かつ高親和性の受容体を形成する。IL23R と会合してインターロイキン-23 受容体を形成し、おそらく Jak-Stat シグナル伝達カスケードの活性化を介して IL23 シグナル伝達に機能する。、オンライン情報: IL12RB1 変異データベース、類似性: I 型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ 2 サブファミリー。、類似性: 5 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。、サブユニット: 二量体またはオリゴマー。ジスルフィド結合。IL12RB2 と相互作用して高親和性の IL12 受容体を形成する。IL23 存在下では IL23R とヘテロ二量体を形成する。ヘテロ二量体は IL23 受容体を形成する。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;

画像データ



IL-12R $\beta 1$ ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。